

日本学術会議第三部、東北地区会議、国立大学法人東北大学 共同主催

AIとIoTが拓く 未来の暮らし — 情報化社会の光と影

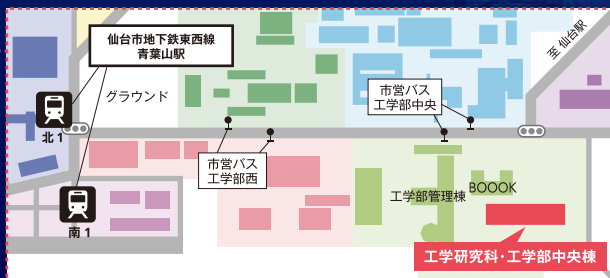
日時
平成30年 **8/2** (木)
13:00 - 17:40

場所
東北大学 青葉山東キャンパス
工学部中央棟二階 大講義室

政府科学技術政策であるSociety 5.0で実現を目指す社会では、AI(人工知能)とIoT(Internet of Things)により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されると宣言されています。情報化社会の光に関心が集中する一方、AIやIoTによる働き方への影響やセキュリティなどの影も指摘する声もあります。本シンポジウムでは、AIとIoTに代表される情報技術による社会の変革の見通しを論じ、未来社会構築における学術の貢献について議論します。

次第(予定)

主催者挨拶	13:00-13:10 開会挨拶 大野 英男 (日本学術会議第三部 会員・部長、東北大学総長) 東北地区会議 代表幹事挨拶 厨川 常元 (日本学術会議第三部会員・東北地区会議代表幹事、東北大学大学院医工学研究科教授・研究科長)
講演	13:10- 「深層機械学習とその意味するもの」 丸山 宏 (Preferred Networks社 PFNフェロー) 14:00- 「AIから量子コンピュータまで 先進技術による社会の変革」 久世 和資 (日本アイ・ピー・エム株式会社最高技術責任者) 15:10- 「AI/IoT時代の学校教育のあり方」 堀田 龍也 (東北大学大学院情報科学研究科教授) 15:40- 「東北メディカル・メガバンク計画の目標と進捗状況— 世界最先端のバイオバンクの構築を目指して」 山本 雅之 (日本学術会議連携会員、東北大学東北メディカル・メガバンク機構長)
総合討論	16:30- 司会 徳山 豪 (日本学術会議第三部会員、東北大学大学院情報科学研究科教授) 討論者 山極 壽一 (日本学術会議会長、京都大学総長)、 土井 美和子 (日本学術会議連携会員、国立研究開発法人情報通信研究機構監事、奈良先端科学技術大学院大学理事)、 丸山 宏 、 久世 和資 、 堀田 龍也 、 山本 雅之
閉会挨拶	17:30-17:40 山極 壽一



▶ **仙台市地下鉄東西線**
「八木山動物公園」行きに乗車、「青葉山」駅で下車(乗車時間9分、料金250円)、徒歩約10分。
▶ **仙台市営バス**
青葉山キャンパス経由の路線は[10系統「青葉台」~「八木山動物公園」区間]のみとなりますので、仙台駅よりお越しの方は仙台市地下鉄東西線をご利用ください。

駐車場のご用意ができませんので、自家用車でのご来場をご遠慮願います。

参加申込方法 当日参加も可能ですが、参加人数把握のため、下記URL又はQRコードより事前申込をお願いします。
※ 満席の場合は、入場をお断りする事があります。
URL: <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/gakujyutsukaigi/form3.html>
お問合せ先 東北大学研究推進課 TEL: 022-217-4840 E-mail: kenkyo@grp.tohoku.ac.jp



入場無料
どなたでも
ご参加できます